

図解する

◆あなたは、ごみの収集と処理について、クラスでスピーチをすることになりました。次のスピーチ原稿を読んで、あとの問いに答えなさい。

【スピーチ原稿】

☆ごみの収集と処理について

現在、A市の市民一人が一日に出すごみの量は、およそ八百九十五グラムです。A市全体では、家庭などから一日におよそ七百七十七トンのごみが出されています。

A市の規定では、家庭や会社などから出されたごみは、「燃えるごみ」「燃えないごみ」「粗大ごみ」「資源物」に分別されます。

紙くずや生ごみなどの「燃えるごみ」は、焼却処理施設に運ばれます。また、「燃えないごみ」や「粗大ごみ」は、破碎処理施設に運ばれます。A市では、これらのごみをそれぞれの処理施設で燃やしたり細かく砕いたりしたあと、埋め立てています。

「資源物」は、空き缶や空き瓶、古紙などで、これはリサイクルされています。出されるごみの量が多くなりすぎると、処理が間に合わなかったり、埋め立て地が足りなくなったりする心配が出てきます。

ア

問一 話の内容が聞き手に分かりやすく伝わるように資料を作るときをしました。上のスピーチ原稿に書かれていることを図や表に表しましょう。

問二 右のスピーチの内容に合うように、スピーチ原稿中の「ア」に、ごみの収集と処理についてのあなたの考えを書きましょう。（スピーチ原稿にふさわしい言葉づかいで書くこと。）
